

201102006A

厚生労働科学研究費補助金
政策科学総合研究事業統計情報総合研究

死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の
介入による人的支援の研究

平成 23 年度
総括研究報告書

研究代表者 大 井 利 夫

平成 24 (2012) 年 3 月

厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究」平成 23 年度総括研究報告書の正誤表を以下に示します。訂正してお詫び申し上げます。

正誤表

該当箇所	(誤)	(正)
11 ページ右段の下から 12 行目	③修正ルール (ルール 1~3)	③修正ルール (ルール A~F)
15 ページ右段の下「H. 知的財産権の出願・登録 状況」項目内容	1. 特許取得 なし 以上	1. 特許取得 なし 2. 実用新案登録 なし 3. その他 なし

目 次

I. 総括研究報告

「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究」大井利夫
..... 1

(資料1) 本研究における原死因選択ルール修得のための研修会等についての案内（平成23年11月1日付、調査協力依頼）..... 19

(資料2) 本研究における原死因選択ルールについてのテキスト..... 28

(資料3) 本研究における原死因選択ルールのための研修会アンケート（平成24年1月28日の研修会開催当日実施）..... 80

II. 研究成果の刊行に関する一覧表..... 81

III. 研究成果の刊行物・別冊..... 81

I. 総括研究報告

死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の 介入による人的支援の研究

研究代表者 大 井 利 夫

(社団法人日本病院会顧問)

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業統計情報総合研究）
研究報告書

「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究」
研究代表者 大井 利夫（社団法人日本病院会顧問）

研究要旨

日本における死因統計は、死亡診断書の記述に基づき ICD-10 に従って原死因を定め、集計されている。本厚生労働科学研究では、死亡診断書の記載精度の向上を目指して、死亡診断書記載時に診療情報管理士が具体的に助言・関与することが重要と考え、死亡診断書に精通した診療情報管理士育成のためのテキストを作成し、教育研修会を実施した。

研究分担者（順不同）

川合 省三 大阪南脳神経外科病院副院長
高橋 長裕 千葉市立青葉病院院長
松本 万夫 埼玉医科大学国際医療センター院長補佐、循環器内科教授
三木幸一郎 北九州市立医療センター内科主任部長
阿南 誠 独立行政法人国立病院機構九州医療センター実務統括管理者
荒井 康夫 学校法人北里研究所北里大学東病院医療情報管理部診療情報管理課課長補佐

青森県

高谷 誠 八戸市立市民病院医事課医療情報管理グループ診療情報管理室

岩手県

川目ゆき子 岩手県立中央病院医療情報管理室主事
名郷根幸枝 岩手県立中部病院医事経営課診療情報管理室主事

宮城県

相澤絵里香 石巻赤十字病院医事課病歴管理係
荒木 春香 みやぎ県南中核病院医事課主事
関根 寛 みやぎ県南中核病院医事課主事
成澤 千代 石巻赤十字病院医事課病歴管理係長

研究協力者（都道府県別、診療情報管理士 256 人）

北海道

安藤こずえ 医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院診療情報管理室副室長
高橋 文 江別市立病院管理課診療情報係主任
建嶋 優紀 医療法人康和会札幌しらかば台病院診療情報管理室課長
長崎ゆかり 医療法人柏葉脳神経外科病院診療情報管理室医事課主任
西山 知子 医療法人雄心会函館新都市病院診療情報管理室主任
吉田 真澄 医療法人医仁会中村記念病院診療情報管理室

秋田県

佐藤 果織 由利組合総合病院医事企画課

山形県

落合 義郎 公立置賜総合病院医事情報課長補佐
山口 聖子 公立置賜総合病院総務企画課主事

福島県

遠藤 智子 財団法人大原総合病院中央病歴管理室
佐藤めぐみ 財団法人星総合病院診療情報管理センター主任

高木 啓	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院医事課	善田 顕理	社会医療法人輝城会沼田脳神経外科循環器科病院診療情報管理室
高橋 幸恵	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院学術庶務課主任	田島 良一	医療法人社団美心会黒沢病院事務部長
渡邊 郁人	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院学術庶務課	沼居 綾	前橋赤十字病院医療情報管理室
茨城県		埼玉県	
岩崎 加奈	東京医科大学茨城医療センター医事課	岩井由美子	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院医療情報管理課主任
岡部 慎一	医療法人聖麗会聖麗メモリアル病院院長	甲斐 修	川口工業総合病院診療情報管理課課長
酒主 剛	茨城県立中央病院茨城県地域がんセンター診療情報室主任	倉本 洋介	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院医療情報管理課
仲島 芳枝	医療法人聖麗会聖麗メモリアル病院診療情報管理室	坂野 直樹	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会栗橋病院医事課
橋本 純	医療法人茨城愛心会古河病院診療情報管理室副主任	鈴木 敏美	医療法人社団東光会戸田中央総合病院中央病歴管理室
栃木県		留目 忍	医療法人財団石心会狭山病院医療秘書課係長
石川 光宏	J Aかみつが厚生連上都賀総合病院診療情報課課長	松本 万夫	埼玉医科大学国際医療センター診療情報管理部部長
大垣富士子	社会福祉法人恩賜財団済生会支部済生会宇都宮病院診療情報管理課	山口 博之	医療法人一心会伊奈病院情報管理部医療情報管理課
片柳 史江	J A栃木厚生連下都賀総合病院診療情報管理課課長	千葉県	
小林 直美	社会福祉法人恩賜財団済生会支部済生会宇都宮病院診療情報管理課	天川谷希望	千葉県がんセンター医事経営課診療情報管理室
坂本 弘美	J A栃木厚生連下都賀総合病院診療情報管理課	岩澤 千恵	千葉県がんセンター医事経営課診療情報管理室
古澤 順	J Aかみつが厚生連上都賀総合病院診療情報課係長	岩間 美香	医療法人社団圭春会小張総合病院事務部診療情報管理室主任
渡邊 幸弘	J A栃木厚生連下都賀総合病院診療情報管理課	佐久間智裕	独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院診療録医療情報管理部
群馬県		坂本 喜視	国保直営総合病院君津中央病院診療録管理室副室長
稲川 茂	桐生地域医療組合桐生厚生総合病院情報管理課診療情報管理係長	鈴木かおる	医療法人社団協友会船橋総合病院病歴管理室
小川日登美	前橋赤十字病院医療情報管理室	野口 直人	医療法人社団愛友会津田沼中央総合病院診療情報管理室

野澤 美樹	医療法人社団愛友会津田沼中央総合病院診療情報管理室主任	神奈川県	浅海 正	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院診療部診療情報管理科課長
溝川 政臣	千葉県がんセンター医事経営課診療情報管理室		伊藤 愛子	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院診療部診療情報管理科
山口 千春	千葉県がんセンター医事経営課診療情報管理室		梅津美都穂	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院医療情報室
渡辺 則子	社会福祉法人太陽会安房地域医療センター事務部診療録管理室主任		柏崎 康宏	社会医療法人社団三思会東名厚木病院診療情報管理室主任
東京都			工藤 恵	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院医療情報室主任
明石有哉子	昭和大学病院診療録管理室		小山 圭子	社会医療法人財団石心会川崎幸病院診療情報管理室主任
阿部 真典	国家公務員共済組合連合会九段坂病院診療情報管理室係長		田尻 昌代	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院医療情報室
淡谷真里子	昭和大学病院診療録管理室		館本 茉衣	医療法人興生会相模台病院医療情報管理課
井沢めぐみ	特別医療法人社団慈生会等潤病院診療情報管理室		肥田美佐子	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院診療情報管理室室長
遠藤 亮子	社会保険中央総合病院診療録管理室主任		村杉 雅秀	東京女子医科大学病院医療記録管理室室長
鎌倉 由香	昭和大学病院診療録管理室主任		持田 和子	社会福祉法人日本医療伝道会総合病院衣笠病院診療情報管理室室長
小池奈保子	社会医療法人財団大和会武蔵村山病院診療情報管理室		新潟県	
小甲 麻由	医療法人社団明芳会高島平中央総合病院医事課		石田なほみ	立川総合病院診療情報管理室
佐渡 淑恵	社会医療法人財団大和会東大和病院診療情報管理室主任		金子 裕子	新潟市民病院医療情報部主任
高瀬 真澄	社団法人地域医療振興協会東京北社会保険病院医療情報課		行田 文	医療法人立川メディカルセンター立川総合病院診療情報管理室室長
照沼 和美	医療法人財団青藍会鈴木病院医事課		富山県	
豊留 仁美	社会福祉法人聖母会聖母病院医事課		岡本真紀乃	南砺市民病院経営企画情報室
中山 純子	社団法人地域医療振興協会東京北社会保険病院医療情報課係長		砂原 恭子	富山県立中央病院医療情報部病歴管理科副係長
藤木 誠一	昭和大学病院診療録管理室		山方真由美	富山県立中央病院医療情報部病歴管理科
前田 照美	社会保険中央総合病院診療録管理室			
松本 紀子	宗教法人立正佼成会附属佼成病院診療情報管理室課長			
村上 舞衣	医療法人財団仁医会牧田総合病院診療情報管理室			
脇村周右也	昭和大学病院診療録管理室			

石川県	稲垣 時子 国立病院機構金沢医療センター医療情報管理室医療情報管理係長	細井 泰子 長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院診療情報管理科主任
		向井 知己 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 ER事務課課長
福井県	五十嵐真由美 福井大学医学部附属病院医療サービス課診療情報管理係	岐阜県
	斎藤久美子 福井社会保険病院病歴管理室	西脇みゆき 特定医療法人徳洲会大垣徳洲会病院病歴室
	吉野 孝博 福井大学医学部附属病院医療サービス課診療情報管理係	静岡県
山梨県		鈴木久美子 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院診療情報管理室
	高 洸一 医療法人徳洲会白根徳洲会病院医事課係員	鈴木 泰子 医療法人社団松愛会松田病院診療情報管理室主任
	山口 賢悟 国民健康保険富士吉田市立病院医事課	野中 幸子 地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院医事課副主査
長野県		増田 実 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院診療情報管理室課長
	青木 静江 社会医療法人財団慈泉会相澤病院診療情報管理課	愛知県
	荒井ゆかり 財団法人長野市保健医療公社長野市民病院診療情報管理室	鵜飼 伸好 医療法人名古屋記念財団名古屋記念病院事務部医事課病歴室
	伊藤 陽子 佐久市立国保浅間総合病院診療情報管理室	小川 智美 社会保険中京病院情報管理課係長
	大村 瑞恵 社会医療法人財団慈泉会相澤病院入院医療事務課	三重県
	岡部 美奈 社会医療法人財団慈泉会相澤病院メディカルクラーク課	栗原 晃子 紀南病院医事課
	小林久美子 佐久市立国保浅間総合病院診療情報管理室	中津眞有美 三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院情報管理室
	坂本小夜子 長野県立木曾病院事務部経営企画課診療情報係	滋賀県
	武井 哲也 社会医療法人財団慈泉会相澤病院病院事務部門診療情報管理課課長代行	小泉 彩子 社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院診療情報管理室
	武田みどり 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 ER事務課	福森 亮介 社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院診療情報管理室主事
	鶴田 雄士 長野県立須坂病院事務部経営企画課	京都府
	春山 圭子 佐久市立国保浅間総合病院診療情報管理室診療録管理係長	阿部 二郎 医療法人医仁会武田総合病院医事部長
		大辻 裕子 三菱京都病院情報管理部情報管理科

佐々木瀬理香	社団法人全国社会保険協会連合会社会保険京都病院医学資料室	島田 裕子	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター企画課
湯浅美智留	社団法人全国社会保険協会連合会社会保険京都病院医学資料室	白澤佐和子	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター診療情報管理室主査
大阪府		杉本 真弓	松下電器健康保険組合松下記念病院診療情報管理室
荒木 邦章	豊中市立豊中病院医療情報室診療情報管理グループ	末福美恵子	りんくう総合医療センター医事課診療情報管理係係長
石原久美子	関西医科大学附属枚方病院医療情報部	瀬戸山智子	枚方市立枚方市民病院医事課診療情報管理室
上田郁奈代	大阪大学医学部附属病院医事課診療情報管理係主任	西 和人	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター診療情報管理室
氏原 悦子	医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院診療情報管理室	福西 茂樹	社会医療法人同仁会耳原総合病院診療情報管理課係長
大津 淑子	りんくう総合医療センター医事課診療情報管理係参与	増尾貴世子	松下電器健康保険組合松下記念病院診療情報管理室
大辻美根子	松下電器健康保険組合松下記念病院診療情報管理室主任	町谷 純子	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会野江病院経営企画部医療情報管理運営課副課長
奥村 峰和	社会医療法人生長会府中病院企画室主任	村田 昌史	財団法人田附興風会医学研究所北野病院医療情報部診療情報課長
小倉 茂裕	社会医療法人ペガサス馬場記念病院診療情報管理室室長	森藤 祐史	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター診療情報管理室
加藤 玲奈	財団法人田附興風会医学研究所北野病院医療情報部診療情報課	森本 好恭	社会医療法人若弘会若草第一病院健康情報部外来医事課課長
金森ひろ子	大阪医科大学附属病院診療情報管理室課長代理	山本 悦子	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院病歴管理室
金子 大記	医療法人仙養会北摂総合病院情報企画室室長	兵庫県	
川崎貴美子	医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院診療情報管理室	朝沼 郁子	医療法人社団甲友会西宮協立脳神経外科病院医事課主任
喜多田祐子	岸和田市立岸和田市民病院医療マネジメント課	内田 満貴	尼崎医療生協病院診療情報管理室
小泉 雅子	社会医療法人きつこう会多根総合病院医療情報管理室主任	荻原 久美	医療法人公仁会姫路中央病院診療情報管理室室長
小林 美保	箕面市立病院診療情報管理室主査	國枝 正志	神戸赤十字病院医事課診療情報係主事
河野留美子	豊中市立豊中病院医療情報室診療情報管理グループ長		
佐々木美幸	箕面市立病院診療情報管理室室長		
汐崎 友里	社会医療法人生長会府中病院企画室		

高村 松世	三田市民病院診療情報管理室係長		療情報管理室係長
竹内 麻里	医療法人公仁会姫路中央病院診療情報管理室	清水 英俊	広島医療生活協同組合広島共立病院診療情報管理課課長
谷口 賢志	神戸赤十字病院医事課診療情報係主事	豊田 直美	広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院診療情報管理科科长
中川 晃	医療法人明和病院診療情報管理室主任		
奈良県		山口県	
釜石 千恵	社団法人全国社会保険協会連合会奈良社会保険病院医学資料室室長	島 且大	独立行政法人国立病院機構関門医療センター企画課
高橋 恵子	医療法人健全会土庫病院医事課副主任	花岡ちか子	独立行政法人国立病院機構岩国医療センター病歴管理室
吉田 玲子	社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院医事課		
		徳島県	
和歌山県		井内 英二	徳島県立中央病院経営企画課診療情報担当主事
芝 直人	公立大学法人和歌山県立医科大学附属病院医療情報部主事	石井 圭	徳島県立中央病院経営企画課診療情報担当主任主事
		原井 千尋	徳島県立中央病院経営企画課診療情報担当主事
鳥取県		藤島 初子	徳島県立中央病院経営企画課診療情報担当課長補佐
新 明美	国立大学法人鳥取大学医学部附属病院医療サービス課保険審査専門職	宮本 恵子	徳島県立海部病院総務課課長補佐
		山田喜久代	医療法人芳越会ホウエツ病院事務部
島根県			
内谷 隆之	島根県立中央病院情報システム管理室		
		香川県	
岡山県		兼安須磨子	香川県立中央病院診療情報管理室主任
海野 博資	財団法人操風会岡山旭東病院診療情報管理室主任	福田 北斗	国立大学法人香川大学医学部附属病院患者サービス課
瀬戸川博子	岡山済生会総合病院医学資料室	松浦 京子	国立大学法人香川大学医学部附属病院患者サービス課専門職員
瀬浪 尚子	岡山大学病院医事課主任専門職員	山下 和代	香川県立中央病院診療情報管理室
武 靖	社会医療法人水人会水島中央病院診療情報管理課係長		
多田 京子	岡山済生会総合病院医学資料室係長	愛媛県	
同前あり沙	医療法人社団同仁会金光病院診療情報管理室	青野 美香	社会福祉法人恩賜財団済生会西条病院医事課診療情報管理室
		明比 佳子	社会福祉法人恩賜財団済生会西条病院医事課診療情報管理室主任
広島県		三笠屋真介	市立宇和島病院診療情報管理室
岩田 潤一	独立行政法人国立病院機構広島西医療センター企画課業務班算定病歴係		
嶋田 貴志	医療法人光臨会荒木脳神経外科病院診		

高知県

高橋 久夫 社会医療法人仁生会細木病院情報システム管理課係長
寺田 文彦 社会医療法人近森会近森病院診療支援部部長

病院診療情報管理室

仲 美歩 医療法人聖峰会田主丸中央病院医療情報管理課
野口 勝矢 医療法人天神会古賀病院 21 診療情報管理室

福岡県

秋岡美登恵 独立行政法人国立病院機構九州医療センター医療情報管理センター診療情報管理室室長

原田 智史 飯塚病院診療情報管理室
藤堂かつら 医療法人社団雪の聖母会聖マリア病院医療事務部 DPC 診療録管理係

泉原 令奈 国立大学法人九州大学九州大学病院診療録管理室

水野友里恵 社団法人福岡医療団千鳥橋病院医事・情報管理部

大塚 由季 医療法人聖峰会田主丸中央病院医療情報管理課

皆元麻里加 独立行政法人国立病院機構九州医療センター医療情報管理センター診療情報管理室

大山 純代 社会福祉法人恩賜財団済生会福岡総合病院診療情報管理室室長

向吉 学 社会医療法人財団池友会福岡和白病院診療情報管理室

加藤 健二 筑後市立病院医事課診療情報管理室

森 静代 産業医科大学病院医療情報管理室

加峯 彩香 医療法人聖峰会田主丸中央病院医療情報管理課

安本 葉子 社会福祉法人恩賜財団福岡県済生会二日市病院診療情報管理課

釜田 里奈 医療法人清和会長田病院診療情報管理室主任

渡邊 栄子 社会医療法人製鉄記念八幡病院診療情報管理室主任

古賀 啓子 医療法人社団雪の聖母会聖マリア病院医療事務部 DPC 診療録管理係

佐賀県

小平美砂緒 産業医科大学病院医療情報管理室

重田イサ子 社団法人全国社会保険協会連合会佐賀社会保険病院医療情報管理部

塩塚 康子 公立学校共済組合九州中央病院診療情報管理室室長

重田美佐都 国立大学法人佐賀大学医学部附属病院診療記録センター

重松 千恵 国家公務員共済組合連合会浜の町病院情報企画課診療録管理室

諸泉 宏紀 医療法人社団如水会今村病院診療情報管理室

柴田加代子 医療法人社団シマダ嶋田病院診療情報管理課

矢野 浩 社団法人全国社会保険協会連合会佐賀社会保険病院医療情報管理部診療情報管理室係長

杉田 佳央 社会福祉法人恩賜財団済生会済生会八幡総合病院医事課係長

山崎 幸子 国立大学法人佐賀大学医学部附属病院診療記録センター

鷹取 奈美 飯塚病院診療情報管理室

竹 佳子 北九州市立医療センター医療情報管理室

長崎県

寺田 涼子 医療法人天神会新古賀病院診療情報管理室

秋田香奈子 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター診療情報管理室

土橋佳代子 社会福祉法人恩賜財団済生会福岡総合

下平 智澄 宗教法人聖フランシスコ病院会聖フラ

	ンシスコ病院診療情報管理科主任	沖縄県		
濱脇 正好	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター診療情報管理室長、心臓血管外科医長	内村 五月	地方独立行政法人那覇市立病院医事課主任主事	
山岡 早苗	宗教法人聖フランシスコ病院会聖フランシスコ病院診療情報管理科長	大城 健一	社会医療法人敬愛会中頭病院医療情報部	
熊本県		天願 勇雄	社会医療法人敬愛会中頭病院医療情報部課長	
坂西美和子	NTT 西日本九州病院看護部看護師長	平安 政子	地方独立行政法人那覇市立病院診療情報管理室主査	
松浦はるみ	公立玉名中央病院診療情報管理室	前田 涼子	医療法人禄寿会小禄病院診療情報管理室	
大分県		真喜志宏子	医療法人禄寿会小禄病院診療情報管理室主任	
江越 恭子	社会医療法人財団天心堂へつぎ病院診療情報管理室			
甲斐 夏子	大分県立病院診療情報管理室			
佐藤真樹子	大分県厚生連鶴見病院情報管理課			
首藤真由美	大分県立病院診療情報管理室			
鳥居 晃代	社会医療法人財団天心堂へつぎ病院診療情報管理室			
丹生 真人	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大分県済生会日田病院診療情報管理室主事			
山村 真理	大分県立病院診療情報管理室			
宮崎県				
市来沙由里	宮崎県立宮崎病院診療情報管理室			
吉原 文代	医療法人同心会古賀総合病院診療情報管理室副室長			
鹿児島県				
中筋眞寿美	公益社団法人鹿児島共済会南風病院医療情報部情報支援課課長			
野田かな子	公益社団法人鹿児島共済会南風病院医療情報部情報管理支援課副主任			
畑中 幸子	財団法人昭和会今給黎総合病院診療情報管理部主任			
本白水 明	医療法人青仁会池田病院診療部診療情報管理室課長			
吉永 理恵	財団法人昭和会今給黎総合病院診療情報管理部			

A. 研究目的

先行研究の統計情報総合研究において明らかになった死亡診断書の原死因と退院時要約から推定される原死因に乖離が見られたことは、わが国の死因および疾病統計の根幹にかかわる重要な課題である。

平成 21・22 年度の先行研究では、各施設の診断書用紙に記述する際の注意すべきパターンを明示し、医師による記載の改善を促すための方法を試みたが、新生物以外の死亡には改善がみられなかった。

本年度は、主治医が死亡診断書に傷病名を記載する際に、ICD-10 に定められた記載様式を医師に助言しうる診療情報管理士を人的に介入することが重要と考え、そのための診療情報管理士に対する教育プログラムを策定し、テキストの作成と教育研修会を実施することを目的とした。

B. 研究方法

今回の研究については、次の 4 点の課題を中心に遂行した。

(1) 教育プログラムの決定

厚生労働省作成の医師向け冊子「ICD の ABC」と「死亡診断書記入マニュアル」を参考に、ICD-10 第 1 巻に詳述されている原死因選択ルールに従い、診療情報管理士用として教育プログラムを策定する。

(2) テキストの作成

教育プログラムに沿って研究者の分担を定め、原死因を選び出す仕組みと方法を解説したテキストを作成する。

(3) 研究協力機関の募集

本研究の意義と方法、今後のフィールドテストを含めた研究内容について、病院長及び直接担当する診療情報管理士にその趣旨と目的を説明し依頼する（資料 1）。

(4) 診療情報管理士への教育

ICD-10 に規定されている原死因選択ルー

ルと修正ルールおよびわが国における死因分類表について、今回作成したテキストを用いて診療情報管理士に対する教育・研修を行い、各研究協力機関の医療現場において適切な死亡診断書記載の助言ができる人材育成を実施する。

倫理面については、テキストおよび教育研修会の実施であるため特別な問題が起きないものと判断した。

C. 研究結果

今回の研究では、国際疾病分類（ICD-10）を用いることの意義ととくに課題としている原死因選択ルールについて死亡診断書に記載された複数の傷病名から原死因を選び出すための仕組みと方法を中心に基礎から解説し、実務においても円滑な業務が推進できるテキストを作成したいと考えた。

項目としては、

(1) 本研究の背景と死亡診断書に関する概説

(2) 死亡診断書における原死因選択ルール

①原死因選択ルールの一般原則

②選択ルール（ルール 1～3）

③修正ルール（ルール 1～3）

(3) 修正ルール C（連鎖 Linkage）詳述

(4) 死因分類表と死亡診断書

を挙げ、これに沿って執筆者を割当ててテキストを作成した。A4 サイズで 49 ページ（資料 2）。

研究協力機関への協力依頼については、全国のそれぞれ臨床研修指定病院（基幹型、1,038 病院）、DPC 対象病院（1,449 病院）、特定機能病院（83 病院）を対象に重複も含め総数 1,574 病院の院長・理事長に依頼文書を 11 月 1 日に発送し、12 月までに 180 病院（11.4%）の院長・理事長の賛同と診療情報管理士 256 人の同意を得た。

11月に理事長・院長宛に協力依頼をした病院（体制の整備）

対象病院（総数 1,574 病院〈重複を含む〉）	臨床研修指定病院（基幹型）	1,038 病院
	DPC対象病院	1,449 病院
	特定機能病院	83 病院

12月までに協力すると回答のあった病院数と同意を得た診療情報管理士の人数

研究協力病院	180 病院（11.4%）
協力する診療情報管理士	256 人

これらを基に、平成24年1月28日（土）9時から16時45分までの教育研修会スケジュール(図1)で、日本工学院蒲田キャンパス3号館地階大講義室にて教育研修会を行い、177施設から248人の診療情報管理士の参加を得て重要と考えた4項目に沿って教育研修を実施した。

図1 教育研修会スケジュール

時間（6時間）	課題	概要	講師
9:00～9:05	挨拶		大井利夫 (研究代表者)
9:05～10:00 (55分)	総論	背景 死亡診断書の意義 関係法令他	松本万夫 (研究分担者)
10:00～10:15 (15分)	休憩		
10:15～12:15 (2時間)	原死因選択（決定）ルール (前半)	1) 原死因選択の一般原則 2) 選択ルール (ルール1～3)	川合省三 高橋長裕 (研究分担者)
12:15～13:15 (1時間)	休憩 (昼食は12階食堂に移動)		
13:15～14:15 (1時間)	原死因選択（決定）ルール (後半)	3) 修正ルール (ルールA～F)	三木幸一郎 (研究分担者)
14:15～14:30 (15分)	休憩		
14:30～15:30 (1時間)	修正ルールC(連鎖Linkage) 詳述		荒井康夫 (研究分担者)
15:30～15:45 (15分)	休憩		
15:45～16:45 (1時間)	死因分類表と死亡診断書		阿南 誠 (研究分担者)

教育研修会終了後、参加者に対しアンケート調査（資料3）を行い、次の結果を得た（237人分、96%。表1）。

（1）講義について

わかりやすい66.5%、普通26.2%、難しい6.2%、無回答1.1%。

（2）テキストについて

充実している48.9%、普通35.1%、もっと詳しく知りたい15.2%、無回答0.8%。

また、本研修会についての意見・要望については表2のとおりである。

■講義について

回答数 237

	わかりやすい		普通		難しい		無回答	
総論	163	68.8%	67	28.3%	3	1.3%	4	1.7%
原死因選択の一般原則	185	78.1%	46	19.4%	4	1.7%	2	0.8%
選択ルール	174	73.4%	52	21.9%	10	4.2%	1	0.4%
修正ルール	141	59.5%	73	30.8%	22	9.3%	1	0.4%
ルールC詳述	122	51.5%	77	32.5%	36	15.2%	2	0.8%
死因分類表	160	67.5%	58	24.5%	13	5.5%	6	2.5%
総数（1422）	945	66.5%	373	26.2%	88	6.2%	16	1.1%

■テキストについて

回答数 237

	充実している		普通		もっと詳しく知りたい		無回答	
総論	116	48.9%	105	44.3%	14	5.9%	2	0.8%
原死因選択の一般原則	137	57.8%	74	31.2%	25	10.5%	1	0.4%
選択ルール	132	55.7%	72	30.4%	31	13.1%	2	0.8%
修正ルール	115	48.5%	75	31.6%	45	19.0%	2	0.8%
ルールC詳述	84	35.4%	72	30.4%	79	33.3%	2	0.8%
死因分類表	111	46.8%	101	42.6%	22	9.3%	3	1.3%
総数（1422）	695	48.9%	499	35.1%	216	15.2%	12	0.8%

表2 本研修会についての意見・要望

■研修会全般について
・スライドが欲しかった（とくにルールC詳述についての具体的症例等）。
・有意義な研修会だった。
・スピードが速すぎて理解しにくかった。
・質疑応答の時間があればよかった。
・サマリーと死亡診断書を対比しながらの説明がわかりやすかった。
・原死因選択ルールがよく理解できた。
・第1巻の内容としてはよかったが、本研究の目指すところが十分理解できなかった。
・病院での指南書として使用したいのもっと詳細なテキストがほしかった。
■診療情報管理士の関与について
・診療情報管理士として積極的に関わっていき、精度向上に貢献したい。
・診療情報管理士が死亡診断書記載に関与するタイミングが難しい、ほとんどが事後の関わりでしかない。
・リアルタイムでチェックし、医師に書き直しをお願いするのは現実的に難しい。
・医師に具体的にどう働きかければいいのかわからない。
・国家資格でもない診療情報管理士が介入するのは限界がある。
・まずは医師（とくに若い医師）への教育、指導を徹底することが先決だと思う。
・診療情報管理士にもう少し法的な権利がほしい。
・原死因コーダーの専門資格のようなものがあれば診療情報管理士の死因分類の知識向上につながると思う。
■ルールC詳述について
・ルールCの講義が難しかった。
・ルールCの例題を記載してほしい。
・ルールCの講義内容とテキストとの整合性が図れていなかった。
■研修会を受講して
・また研修会を開催してほしい（地区別にも・有料でも・演習形式のもの）。
・具体例や間違いやすい症例についての研修をしてほしい。
・研究の中間報告的な研修があってもよいのではないか。
・今回勉強した内容を基に病院に戻って研修会をするつもりである。
・本研究に関するWEBサイト、メーリングリスト等で実務者へのサポートを希望する。
・原死因選択ルールについての質問を受け付ける窓口を作ってほしい。
■その他
・過去に使用したラミネートシートや注意事項がほしい。運用例もあれば今後の参考となる。
・第1巻を持参するようというアナウンスがあってもよいと思った。
・今後の業務に使える第1巻の副読本のようなものがほしい。
・がん登録における死亡診断名について、確実な死因病名の記載を求めることがあるべきだと思う。
・データ（サマリーと診断書）の収集、提出方法などの詳細を説明してほしい（全件提出するのか？など）。
・厚労省の方のコメントがほしい。
■質問
・外因死の追加事項だけに外因が記載されている場合は死因の原因にも記載するように指摘すべきか？
・サマリーとの不一致とは？ 原死因（死亡診断書）はあるが、サマリーの中の病名にはないということか？

D. 考 察

1. 教育プログラムの策定とテキスト作成

今回の課題である原死因選択については、適切な原死因が決定できるように ICD-10 に選択ルールと修正ルールが定められている。しかし、死に至った直接の傷病名しか記載されていない場合、原死因と考えられる基礎疾患が別欄に記載されるなど不適切な死亡診断書では本来の正しい傷病名が死因統計に反映されないことになる。

そのため、テキスト作成には死亡診断書の意義と ICD-10 に定められた原死因選択のルールを詳述するとともに先行研究で指摘された死亡診断書の精度に影響する要因を考慮することが重要と考えた。要因は次のとおりである。

- ①病原体の記載
- ②細胞型の記載
- ③良性・悪性の記載
- ④部位の記載
- ⑤部位の不正確
- ⑥その他の詳細な記載
- ⑦内容に矛盾・相違ないこと
- ⑧原疾患の記載
- ⑨記載方法の不適切
- ⑩救急心肺停止の扱いが不適切
- ⑪外因を無視

2. 教育研修会の実施

臨床研修指定病院等 1,574 病院のうち、180 施設から診療情報管理士 256 人の本研究に協力する旨回答を得、策定したプログラムの下、1 日を使った教育研修会を実施した。アンケート結果から、

- ①講義については、わかりやすいと普通を合計すると 93%と高い値を示し理解できる解説ができたと考えられる。
- ②テキストについては、充実しているとの回答が半数を占め、普通が約 3 割と当初の目

的である死亡診断書の意義、原死因選択ルールの解説、死因分類表について一定の理解が得られたと考えられる。

ただし、原死因選択を記載している ICD-10 第 1 巻が現場の業務に使いにくく、理解しやすい副読本がほしい、あるいは原死因選択ルールの修正ルールを解説した例題を知りたいとの意見もあり、より現場の声を反映したテキストの充実が必要であると考えられる。

E. 結 論

死亡診断書記載時に助言などの人的関与をしようる診療情報管理士の育成を目的とした教育プログラムを策定し、テキストの作成と体制の整備を行った。

さらに、研究協力病院の診療情報管理士を対象とした死亡診断書記載方法に関する教育研修会を開催し、良好な結果を得た。

向後、死亡診断書の意義と記載方法に精通した診療情報管理士が診断書記載時に関与することにより、死亡診断書の精度向上が期待される。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし 以上

I. 総括研究報告

資 料

<1 ~ 3>

理事長様
病院長様

平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金
政策科学総合研究事業統計情報総合研究
「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の
介入による人的支援の研究」
研究代表者 大井 利夫（社団法人日本病院会顧問）
（公印省略）

「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究」
における原死因選択ルール修得のための研修会等についての案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より多大なご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私どもは平成 17 年度から 22 年度までの 6 年間、厚生労働科学研究費補助金統計情報研究事業の一環としてわが国の統計における死因および傷病構造の把握精度の向上について医療機関からのデータを基に調査・解析してまいりました。これら研究結果については、お陰をもちまして厚生労働省統計情報総合研究・事後評価委員会より高い評価を受けることができ、今年度は今までの研究に基づいた新たな研究として「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究」として採択されました。ひとえに、先生の深いご理解とご協力の賜物と感謝いたしております。今後とも医療の質向上のために精励し、ご期待に添うよう努力いたす所存です。

今回、正確な死因の把握が社会的に大きな関心事にもなっている折、今までの研究結果を踏まえ本研究では医療の現場において人的支援の必要性が改めて重要との認識に立ち、特に診療情報管理士が主治医の死亡診断書作成時に関与し助言を行うことにより、一層円滑にまた適切なサポートが可能となり、適正な死亡診断書記載内容の質向上および医療へのさらなる貢献の可能性について取り組んでいます。

本年度は、診療情報管理士が死亡診断書記載時に介入することによる有効性を検証する第 1 段階として、死亡診断書記載内容に関する診療情報管理士の水準向上と診療情報管理士が死亡診断書の精度向上に寄与するための問題点の抽出を目的に次の内容を企画いたしました。

- 〔1〕 研究協力者（貴院の診療情報管理士）として、2012 年 1 月 28 日（土）9 時から 17 時予定で東京蒲田の日本工学院講堂において開催する標記研修会（参加費は無料、300 名限定）にて原死因選択ルールを修得してもらいます（本年度認定研究事業）。
- 〔2〕 上記研修会に受講した研究協力者は、引き続き現在企画している平成 24 年度厚生科学研究事業研究計画に沿って貴院の協力の下、実際に主治医の死亡診断書作成時に関与し助言を行い、それに基づいて得られた死亡診断書と同症例の退院時要約のコピーを提出してもらい本研究班で検証します（平成 24 年度申請予定）。

つきましては、本研究事業の趣旨をご理解いただき、別紙回答用紙を使い本年 12 月 15 日（木）までに FAX にてご回答くださいますようお願い申し上げます。協力いただける病院には担当者にご連絡いたします。諸事ご多忙と存じますが、何卒ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

〈添付資料〉

①本研究事業に対する回答用紙（FAX 返信用紙、添付資料1）

②平成23年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業統計情報総合研究）交付申請書（抜粋）

研究課題名（課題番号）：死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究

（H23－統計－一般－002）（添付資料2）

問い合わせ先など：平成23年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究「死亡診断書の精度向上に関する診療情報管理士の介入による人的支援の研究」事務局
社団法人日本病院会学術部通信教育課担当 千須和（チヌワ）
〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町
電話03-5215-1044、FAX03-5215-1045

以上